タカラ 浴室暖房乾燥機 〈天井埋込形〉

特定保守製品 設置説明書 品番 EYK-303J EYK-303JT

■設置作業の前にこの説明書をよくお読みの上、正しく設置してください。

特定保守製品に関するお願い

設置事業者様へ

本製品は、消費生活用製品安全法(消安法)で定められた特定保守製品です。
設置事業者は消安法上、この製品の設置の際に所有者に対して、点検期間中に点検を行なうことが必要であるとともに、この製品の製造事業者に所有者登録や所有者情報の変更をしているか、登録や変更がなされていないようであれば、所有者にその必要性を伝える責務があります。
また、同梱されている所有者票を必ず販売事業者（特定保守製品取引事業者）にお渡しください。
（既に販売事業者から所有者へ渡されている場合は除きます。）

販売事業者様へ

本製品は、消費生活用製品安全法(消安法)で定められた特定保守製品です。
販売事業者は、所有者に所有者票を示して「お客様へ（法定説明事項）」にある項目を説明する義務があります。 また、所有者に所有者登録を必ず行うようお願いしてください。
（登録の方法は所有者票または、取扱説明書をご覧ください。）

1．安全上のご注意
2．取付時のご注意
3．設置作業の流れ
4．各部の名称及び寸法
5．付属部品及び別梱包部品
6．配線図
7．本体の取付け
8．ダクト接続
9．電気工事
10．コントローラの取付け
11．試運転

1．安全上のご注意 必ずお守りください

◆設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
◆ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
◆表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。

◆絵文字の意味は次の通りです。

❗	必ず実行してほしい行為を表します。	⃠	禁止を表します。		分解しないでください。

◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

⚠ 警 告

分解禁止
改造はしないでください。修理技術者以外の人は、分解したり修理をしないでください。
火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

使用禁止
内釜式風呂を設置した浴室では使用できません。
排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

使用禁止
交流１００Ｖ以外では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製のダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取付けてください。
漏電した場合発火することがあります。

アースを確実に取付け、専用の漏電遮断器を設置してください。
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
アースの取付けは販売店にご相談ください。

⚠ 注 意

部品の取付けは確実に行なってください。
落下により、けがをするおそれがあります。

コントローラは浴室の外に取付けてください。
感電のおそれがあります。

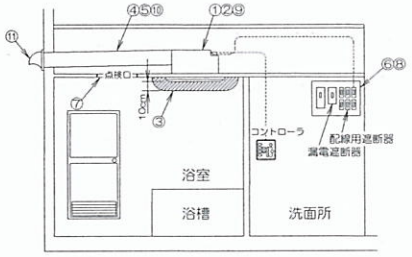
電気配線工事は電気工事店に依頼してください。
（電気設備技術基準、内線規定に従っていることを、電気工事店に確認してください。）
接続不良や誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

2．取付時のご注意

◆この浴室暖房乾燥機は浴室天井取付専用です。
壁などに取付けますと、換気、暖房、乾燥が効果的に行なわれません。

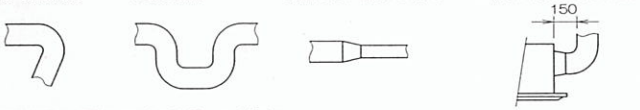
◆浴室暖房乾燥機の取付規制は地域により異なりますのであらかじめご確認ください。
東京都火災予防条例設置基準では下記のように定められております。
・この基準は「適合機器」に適用されます。この商品は「適合機器」です。
①機器本体は、可燃物に密着設置が可能です。
②機器は天井に堅固に取付けてください。
③浴室への温風吹出口および空気吸込口の前方10cm未満の範囲内には造営材など(乾燥する衣類を含む)を設けないでください。
④ダクトの材質は不燃材料のものをご使用ください。
⑤ダクトは専用としてください。ただし、同一住戸内の洗面所、便所その他これに類する室(以下「洗面所」とする)のダクトと接続される場合で、洗面所などのダクトが不燃材料で造られている場合はこの限りではありません。
⑥アース線が確実に接続され、漏電遮断器が設置されていることを確認してください。
⑦機器本体に近接する部分に、点検口があることを確認してください。

◆その他の注意点
⑧電源は専用回路とし、他の機器との併用は避けてください。
⑨本体を断熱材などでおおわないでください。
⑩排気ダクトは雨水侵入、結露水逆流をふせぐため、屋外に向かって1/100以上の下り勾配にしてください。
⑪ダクトの先端には、雨水や鳥などの侵入を防ぐため、ベントキャップなどを取付けてください。
また、ベントキャップなど屋外フードには、圧力損失の大きなもの（網付きなど）を使用しないでください。



◆次のようなダクト接続は絶対にしないでください。

●90°以上の曲げ ●多数の曲げ ●接続ダクト径を小さくする ●排気口のすぐそばでの曲げ

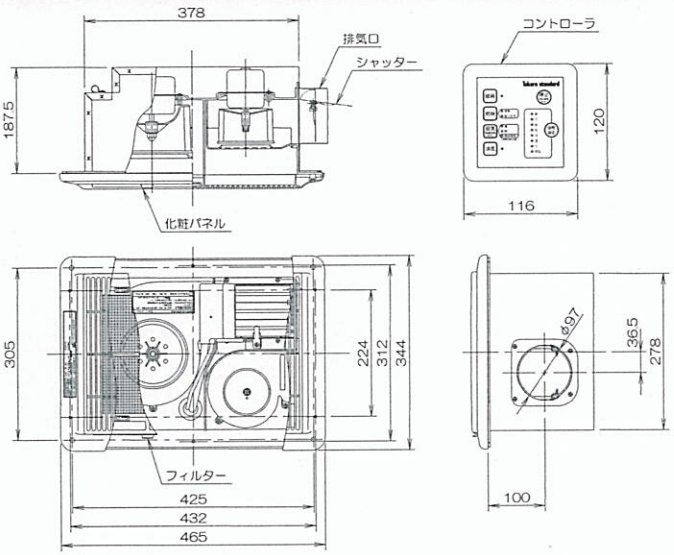


◆電気配線工事は電気工事店に依頼してください。
◆本機は 1330/1360W(50/60Hz)です。専用の配線用遮断機(20A)の設置が必要です。
◆アース工事(D種接地工事)と専用の漏電遮断機の設置は電気工事店に依頼してください。
◆メンテナンスを容易にするために天井裏の電源コードに2m位のゆとりをもたせてください。

3．設置作業の流れ （これは代表的な例です）

①設置打合せ（ダクト工事、電気工事の打合せ） → ②システムバスの組立（壁パネルの取付まで） → ③ランドリーパイプの取付（ランドリーパイプ設置説明書参照）
→ ④天井の取付（システムバス設置説明書参照） → ⑤乾燥機本体の天井への取付 → ⑥システムバス組立完了
→ ⑦排気ダクト工事 → ⑧電気工事 → ⑨試運転 → ⑩引き渡し

4．各部の名称及び寸法



5．付属部品及び別梱包部品

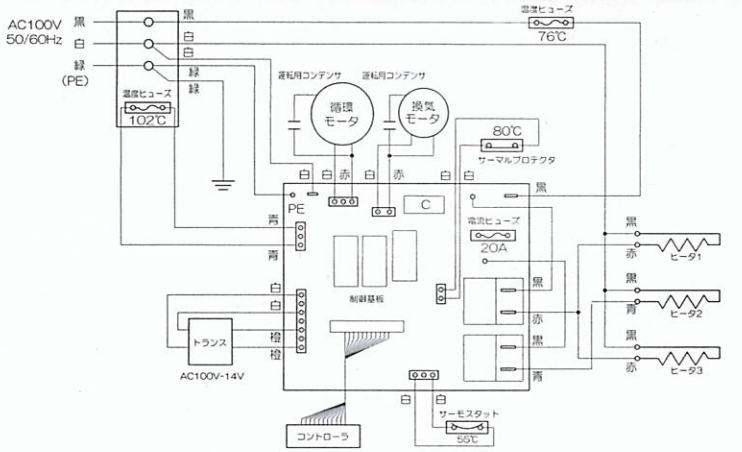
【付属部品】

部品名	数量	用途
トラスタッピンネジ 4×40	6本	本体取付用
ナベ小ネジ M4×10	4本	化粧パネル取付用
皿タッピンネジ 4×35	4本	コントローラ取付用

【別梱包部材】

品名＼内容物	ランドリーパイプブラケット	ランドリーパイプ16	ランドリーパイプ12	ランドリーパイプ11
16 ランドリーセット	2ヶ	1ヶ	—	—
12 ランドリーセット	2ヶ	—	1ヶ	—
11 ランドリーセット	2ヶ	—	—	1ヶ

6. 配線図

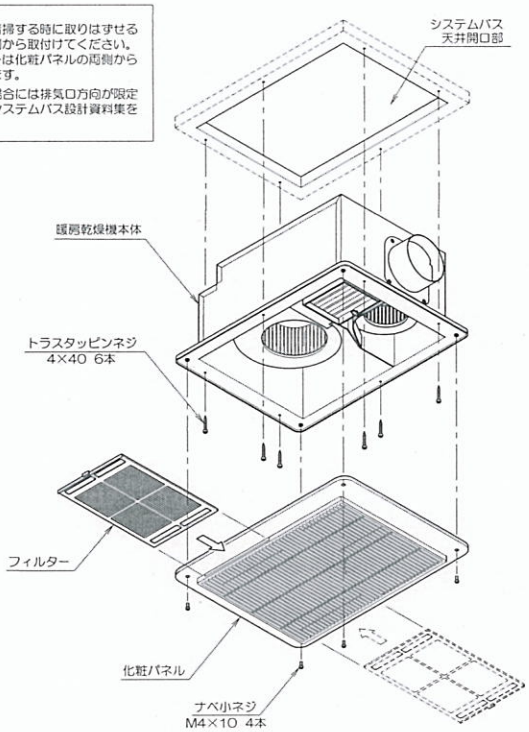


7. 本体の取付

⚠警 告	内釜式風呂を設置した浴室では使用できません。 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。
⚠注 意	本体の取付けは十分強度のあるところを選んで確実に行なってください。 火災・感電・けがの原因となります。
	部品の取付けは確実に行なってください。 落下により、けがをするおそれがあります。

1．システムバスの天井に本体を付属のネジ（トラスタッピンネジ 4×40）6本で取付けてください。
2．化粧パネルを付属のネジ（ナベ小ネジ 4×10）4本で取付けてください。

ご注意
- フィルターは清掃する時に取りはずせるよう必ず洗場側から取付けてください。このフィルターは化粧パネルの両側から抜き差しできます。
- ドーム天井の場合には排気口方向が限定されますのでシステムバス設計資料集を参照ください。

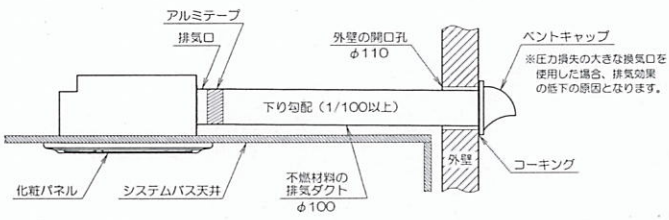


8. ダクト接続

ダクト接続をする場合、建築基準法（同施行令）および消防法等の関連法規に従って有資格者が行なってください。

⚠警 告	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製のダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取付けてください。 漏電した場合、発火することがあります。

1．排気口に排気ダクト（φ100）を接続し、アルミテープで確実に固定してください。
①排気ダクトは雨水侵入、結露水逆流をふせぐため、屋外に向かって1/100以上の下り勾配にしてください。
②排気口のすぐそば（150mm以内）では、排気ダクトを曲げないでください。
シャッターが開かなくなる場合があります。
2．外壁に取付けたベントキャップと排気ダクトを確実に固定してください。

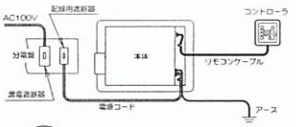


9. 電気工事

電気工事は電気工事店に依頼してください。
（電気設備技術基準、内線規定に従っていることを、電気工事店に確認してください。）

⚠警 告	改造はしないでください。修理技術者以外の人は、分解したり修理をしないでください。 火災・感電・けがの原因となります。
	交流１００Ｖ以外では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
	アースを確実に取付け、専用の漏電遮断器を設置してください。 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
⚠注 意	電源電線の接続は確実に行なってください。 接続部が加熱して発火のおそれがあります。

1．配線をします
φ1.6～φ2.0の電源コード（VVFケーブル）を本体取付位置より約2m位のゆとりを持って配線してください。

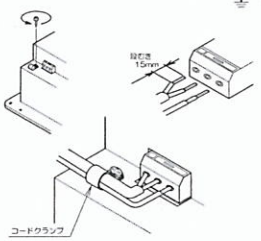


2．電気工事をします
必ず専用の配線用遮断機（20A）と漏電遮断器を取付けてください。

（1）ネジをはずしてコードクランプを取りはずしてください。

（2）電源端子台に電源コードとアース線を芯線がとまるまで差し込んでください。
電源端子台から抜いた電線を、もう一度差し込むときは芯線の皮むきを新たに行なってから差し込んでください。

●この電源端子台はφ1.6～φ2.0の単線専用です。より線は絶対に使用しないでください。



（3）電源コードとアース線をコードクランプで固定します。

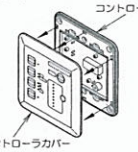
10. コントローラの取付

⚠注 意	コントローラは浴室の外に取付けてください。 感電のおそれがあります。

スイッチボックスを使用する場合

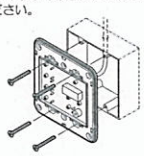
1．取付場所に市販のスイッチボックス（JISの2連）を取付けておいてください。

2．コントローラカバーを取はずしてください。

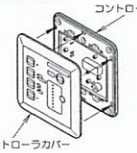


3．コントローラ裏のソケットにリモコンケーブルのコネクタを確実に差し込み、リモコンケーブルをコードクランプで固定してください。

4．スイッチボックスに付属している皿ネジ4本で、コントローラ本体をスイッチボックスに取付けてください。

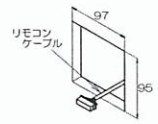


5．コントローラカバーを元通りに取付けてください。

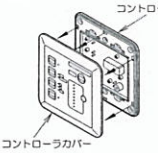


市販のはさみ金具を使用する場合

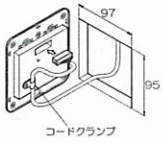
このコントローラに使用可能か確認の上使用してください。
1．取付場所に97×95mmの穴をあけてください。



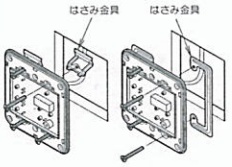
2．コントローラカバーを取はずしてください。



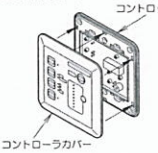
3．コントローラ裏のソケットにリモコンケーブルのコネクタを確実に差し込み、リモコンケーブルをコードクランプで固定してください。



4．各はさみ金具の取付方法で取付けてください。

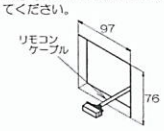


5．コントローラカバーを元通りに取付けてください。

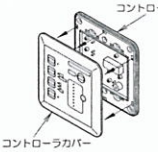


壁に直接取付ける場合

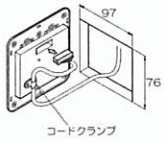
ネジがききにくい壁には事前に裏補強するか、カールプラグなどを使用してください。
1．取付場所に97×76mmの穴をあけてください。



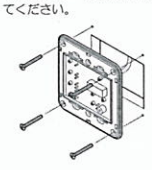
2．コントローラカバーを取はずしてください。



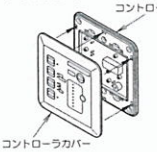
3．コントローラ裏のソケットにリモコンケーブルのコネクタを確実に差し込み、リモコンケーブルをコードクランプで固定してください。



4．付属の皿タッピンネジ(4×35)4本でコントローラ本体を壁に取付けてください。



5．コントローラカバーを元通りに取付けてください。



11. 試運転

◆設置作業が終わりましたら、再度、結線が間違っていないか確認し、取扱説明書の使用方法を参照し、正常な運転ができるか、また、本体の取付けが確実で、振動、異常音がないか確認してください。

◇お客様への説明
◎取扱説明書にしたがって、使用方法を説明してください。「安全上のご注意」および「使用方法」を十分に説明してください。
◎取扱説明書にしたがって、「アフターサービス」について説明してください。

タカラスタンダード株式会社
本社 〒536-8536 大阪市城東区鴫野東1丁目2番1号
TEL(06)6962-1531